

## 令和6年度 学校関係者評価

令和7年2月25日(火)

学校評議委員 4名

### 指導・助言等

- ・「国際感覚を育む取り組みが行われている」という質問に対する肯定的回答率が低いようだ。自分も実際に海外に行ってみて初めて日本の様々な面に気づいた。経済や国際関係を学ぶ必要があり、それは単に英語が話せる、ということではないはず。私たちの世代が高校生の時には教わっていない感覚を教える場を設けてほしい。
- ・外国の方との交流を考えるのであれば、国際交流協会に問い合わせることも考慮してどうか。それが難しければ、オンラインで交流することも考えられるのではないか。いずれにせよ、そういう機会を意図的に作っていくことが重要である。
- ・アンケート結果は、現状をよく反映していると思う。特に、ICT機器の活用についての、教員と生徒のギャップはそれが顕著に表れている。
- ・SSH研究開発成果報告会に参加させてもらった。自分たちの素朴な疑問から出発した色々な課題が取り上げられていて楽しかった。日々の生活に密着した、日焼け止めについての研究から、社会課題に取り組み、関係機関と連携したり、実際に聞き取りを行ったり、アンケートを実施したりしているのに感心した。考えた取組が実際に形になったりしたものもあるようだ。新聞で、製作した絵本についてクラウドファンディングをする記事も見た。生徒の自信につながるのを継続してほしい。
- ・探究活動のような新しい取組がある一方で、観一祭に参加させてもらおうと、デカンショや民謡踊りのような伝統行事も健在である。伝統も挑戦も大事にする学校であってほしい。
- ・高校入学段階前で学校生活に馴染めないが、高校入学を機に頑張ろうと考えている中学生にとって、定時制は貴重な学びの場である。アンケートを見ると、「他の生徒や先生との人間関係は良好である」という項目をはじめとして、多くの項目で肯定的な回答が多いのはとても嬉しい。
- ・SSH研究開発成果報告会に参加させてもらった。学校評議員になって、SSHの中身を知るようになったが、素晴らしい取り組みなので、もっと広報活動に取り組んでほしい。
- ・SSH研究開発成果報告会は、生徒らしい身近な課題に取り組んだ面白い研究が多く、商品化が可能だと思われる発表もあった。